

## 「私たちはイエスをどのように知っているか？」

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

私たちはイエスをどのように知っているか？

私たちは、他人と長く一緒にいるからと言って相手のことを良く知っているとは限りません。それは友人、知人、会社の同僚、家族、あらゆる人間関係に言えることです。

ましてや、目に見えない神様については尚更です。何故、他者を知ることは難しいのか。それは多くの人間関係で私たちが自らの願望や期待を相手に投影し、自分が聞きたいこと、見たいことに沿って相手を知ろうとするからです。

どうしたら、私たちは他者を、神様を色眼鏡を通さずに知ることができるか？

そんな問いを持って今朝は、イエス様を知る幸いを学んでみたいと思います。

朗読 マルコによる福音書 1:21-34

「一行はカファルナウムに着いた。イエスは、安息日に会堂に入って教え始められた。人々はその教えに非常に驚いた。律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかれた男がいて叫んだ。「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」イエスが、「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。人々は皆驚いて、論じ合った。「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」イエスの評判は、たちまちガリラヤ地方の隅々にまで広まった。すぐに、一行は会堂を出て、シモンとアンデレの家に行った。ヤコブとヨハネも一緒であった。シモンのしゅうとめが熱を出して寝ていたので、人々は早速、彼女のことをイエスに話した。イエスがそばに行き、手を取って起こされると、熱は去り、彼女は一同をもてなした。夕方になって日が沈むと、人々は、病人や悪霊に取りつかれた者を皆、イエスのもとに連れて来た。町中の人々が、戸口に集まった。イエスは、いろいろな病気にかかっている大勢の人たちをいやし、また、多くの悪霊を追い出して、悪霊にものを言うことをお許しに

ならなかった。悪霊はイエスを知っていたからである。」

マルコによる福音書 1:21-34 新共同訳

ヤコブ 2:19

使徒 19:15

ルカ 8:26

導入

イエス様を私たちが、どのような方として認識しているかを考える前に…

悪霊は、イエス様をどのように認知していたのでしょうか。マルコ 1:34 「悪霊はイエスを知っていた。」

「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」

これは、〈信仰告白ではない。〉

悪霊はイエス様を恐怖する対象として知っていました。それは、彼にとってイエス様は、彼を縛る支配者だったから。

かたやイエス様は悪霊をどのような存在として認知していたのか。

「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。

イエス様が悪霊を叱ったのは悪霊が

人間の神の知識を暗くし、人間を神の恵みから遠ざけ、人間を不幸に陥れる存在だと認識していたからです。

以上のことからイエス様と悪霊は、

イエス様が悪霊をその権威と力で支配し、悪霊はイエス様に逆らって働くことが許されていない関係だったことが分かります。

問い 私たちはイエス様をどのような方として知っているのでしょうか。

教師 導師 主人 王 友 助け手

教祖 etc

今、申し上げた認識に間違いはないか、  
それらは、冒頭で申し上げた私たちの願望を投影した認識ではないのか。

実は私たちがイエス様を色眼鏡をかけずに知るためには、  
イエス様が私たちを知っておられることを根拠にする必要があります。

イエス様は、私たちはどのような者として知っておられるか。

@ イエス様は私たちをその命に代えて愛する存在として知っておられる。

すなわち私たちは、イエス様にとって“愛さずにはいられない存在。”

@ イエス様は私たちを罪と支配から解放すべき存在として知っておられる。

「従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。キリスト・イエスによって命をもたらす霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。」

ローマの信徒への手紙 8:1-2 新共同訳

今、申し上げたことを根拠に  
私たちはイエス様をどのような方として知ることができるか！

私たちはイエス様を信頼すべき愛の対象として知ることができる！

イエス様を信頼すべき愛の対象として知るとき、私たちはイエス様の教え、導きに従わねば  
ならないから、  
従いたいと願うようになる。

ねばならない irrational belief  
支配関係でなはいから。

悪霊は、イエス様と支配関係にあった。  
従って彼はイエス様に従わなければならない存在だった。

私たちはイエス様に自発的、積極的に従うことができます。なぜなら私たちとイエス様は愛  
と信頼をベースにした関係にあるから。

ではイエスを愛の対象として知る為には何が必要か。

その答え

イエス様の人となりとその働きを神の憐みを文脈にして知る必要がある。

神の憐みを文脈としてイエス様を知るとき、人は初めてイエス様を私たちの愛の対象、信頼の対象、尊敬の対象として知ることができる。

悪霊は、神の憐みを知らなかった。

だから、彼はイエス様に恐怖し、イエス様に従わざるを得なかった。

もし私たちがイエス様を神の憐みに照らして知るなら私たちの人生は、変わります。どのように変わるか。

イエス様の教え、導きに強いられて従うものから喜んで従う者へと変えられる！

みなさん、今朝、私たちとイエス様との関係を省みて自らのクリスチャンライフを吟味させていただきますか！